

**基本理念：地域に親しまれ信頼される病院**

- 基本方針
1. 患者様中心の医療を提供します。
  2. 安心・安全な医療を提供します。
  3. 保健・福祉と連携した医療を提供します。
  4. 公共性と経済性を考慮し、健全な病院経営に努めます。

**健康ふれあいフェスティバル****第33回小鹿野町健康まつり・第30回町民輪投げ大会を振り返って**

10月26日（日）町立病院において、健康まつりと町民輪投げ大会が開催されました。当日は天候にも恵まれ、多くのボランティアの皆さんにもご協力いただき、町民の皆様にも大勢参加していただき盛大に開催できました。

今回のスローガンは、「笑顔の源は健康から」「みんなですすめる減塩・茶トシ」をテーマに、町民の皆さんが健康に気遣い、減塩し、簡単にできる運動をして生活習慣の見直しを図り健康作りができるように設定しました。

朝8時30分から、病院駐車場で健康まつりの開会式が行われ、引き続き町民輪投げ大会が始まりました。輪投げ大会は、今回30回目を迎え町民のスポーツ競技の一つとして各地区に深く根付いております。地域においては、毎年地区で輪投げ大会を開催しているところもあります。

まつり会場内の、紹介をさせていただきます。旧病院の玄関を入ったホールでは、「気づきの木」に皆さんが健康に気遣っていることや結果など実ったことを折り紙に書いて、「気になる木」にたくさんの実を付けていただきました。他にも、「いのちの大切さに関する」標語の入賞作品の展示や特定健診、健康増進事業、子育て支援センターの紹介などの展示がされました。また、今年初めて秩父郡市歯科医師会の先生に来ていただいて歯科健診も行いました。



外来待合室では、「健康はつらつライブ」のステージが設けられ、子育て支援センター・動揺くらぶの子供たちの歌や紙芝居・絵本、フラダンスに太極拳・新体操、長若中学校の生徒さんによる歌舞伎の上演、山下医師による減塩による健康作りの講話などがあり、観客の皆さんも楽しんでいました。

検査室の待合いでは、外来と2階病棟スタッフが血糖・血圧測定や視野検査、骨密度・血管年齢チェックを行い、大勢の方が自分の健康状態をチェックして今後の参考にしていました。

CT室では、放射線科のスタッフにより内蔵脂肪測定が行われ、普段は測定する機会が少ないので大変好評でした。

受付前ロビーでは、ボランティアのおがのむてっぼうのメンバーが、ストレッチポールを使ってピラティス体操を指導してくれました。心も体もリフレッシュできたのではないのでしょうか。



職員食堂では、町の管理栄養士会で「減塩」をテーマに、試食・試飲コーナーを設け、減塩に関する展示をし、望ましい塩分量を舌で覚え減塩の知識も学ぶことができました。

リハビリ室では、3階病棟とリハビリのスタッフが、茶トシとロコトシや転ばない足づくり・フットセラピー・外反母趾のセルフケアを行いました。茶トシのを知ることができた、外反母趾が改善されたとかフットセラピーをうけて「気持ちよかった」等の声が聞かれました。

病院の外では、スポーツ推進委員による体力テストとか、焼きまんじゅう、すいとん、焼き鳥、かりんとうなどの販売を多くのボランティアグループのご協力でお店を出していただきました。

最後に、各種団体ボランティアの皆様、長若中学校の生徒さんや先生方の皆さん等多くの方々にご協力を頂き、健康まつりが盛大に開催できたことに心より感謝申し上げます。当院も、「地域に親しまれ信頼される病院」づくりに、なお一層こころがけていきますのでよろしくお願いいたします。

## 第2回地域医療講演会の報告

9月26日夕方6時30から、小鹿野文化センターで第2回地域医療講演会が、大勢の皆さんにご来場いただき盛会に行われました。「今、いかに生きるか」「住み慣れた地域で最期まで」の演題で、高知県梶原町立国保梶原病院 院長内田 望先生に講演していただきました。四国の梶原町は、人口3,722人で高齢化率42%の町で、年々人口も減少し高齢化も進んでいる町です。講演の内容は、住み慣れた地域で長く暮らせて「よかった」、住み慣れた地域で逝けて「よかった」と感じられるように、「人生の最後」について生きているうちから考えようと、ユーモアを交えて楽しくお話をしていただきました。先生が、梶原町でアンケートをとったところ、約7割の方が「自宅で最期を迎えたい」と回答したそうです。また、家族の方もそれを望んでいる方が増えてきているようです。まとめに、「自分もいつかは天国に旅立つ存在であることを理解する」、「どんな風に旅立ちたいかイメージする」、「臨終から目を背けない」「今をどう生きるか考える」ことが大事だなどお話がありました。元気なうちに、家族の方たちとそんな話をしてみたいはいかがでしょうか。

もう一題、当院の加藤医師が「小鹿野町で生きる」と題して、町立病院の取り組みと緩和ケアや急変時特別入院システムについて紹介など、町立病院を上手に活用すれば、「安心して地域で暮らせます」というお話をしていただきました。

今、国でも地域包括ケアシステムの充実を図るよう推進しておりますが、当院でも、町民の皆様のことを考え、安心して住み慣れた地域で暮らせて「よかった」と思えるように、さらに努力していきます。今後、出前講座を通して、地域住民の皆様と、意見交換を勧めていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。



### 入院患者様への面会についてのお願い

インフルエンザ等の感染症の流行期を迎え、**感染予防のため**面会につきましては、下記のとおり制約がございますのでご理解ご協力をお願いいたします。

記

- ① 手洗い（手指消毒）とマスクの着用をお願いします。
- ② 飲食物の持ち込みは、ご遠慮ください。（許可のある場合を除く）
- ③ 15歳以下の面会は、ご遠慮ください。
- ④ 発熱や下痢、咳やくしゃみ等の症状がある場合は、面会をご遠慮ください。
- ⑤ ご家族以外の方の面会は、ご遠慮ください。

面会は、1時間以内でお願いします。

（特別な場合は、1階受付でご相談ください。）

- ⑥ 面会時間の厳守もお願いいたします。

平日（月曜から土曜まで） 午後 1時～午後8時まで

休日（日曜・祝日） 午前10時～午後8時まで



## 年末年始休診のお知らせ

年末年始が下記の日程で休診となりますので、大変ご不便をおかけしますがご理解ご協力をお願いいたします。

休診期間 : 12月27日（土）から1月4日（日）まで

尚、12月28日（日）と1月2日（金）は、「一次救急当番日」になっております。



〈発行〉 国保町立小鹿野中央病院 〒368-0105 埼玉県秩父郡小鹿野町小鹿野300番地

電話（代表）0494-75-2332 FAX 0494-75-3313

〈ホームページ〉「国保町立小鹿野中央病院」で検索、または「小鹿野町」のホームページからどうぞ。